

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

Q1 運転免許返納に拒絶感があり、認知症検査を受けようとしなかった場合の対応策を知りたい

A1 認知症の場合、自動車運転は危険を伴う

→地域包括支援センターと連携する

認知症と診断されると、運転免許更新は拒否される＝生活に大きく影響する
周囲が注意しても「生活に必要」との理由から運転をやめない高齢者も多い



患者の居住地域の地域包括支援センターに連絡する(患者に同意を得ず連絡したことも伝える)



地域包括支援センターは「見回り」などと称して速やかに現状を確認し、適切な介入を図る。
免許証返納後の生活支援についても、地域包括支援センターと連携していく必要がある。

【参考】運転免許証に係る認知症の診断の届出ガイドライン（認知症学会、日本老年医療学会）

平成26年6月1日より改正道路交通法が施行され、認知症等を診断した医師による運転免許証に係る任意の届出制度が開始されました。届出を行うかどうかは「任意」であることに留意して下さい。治療や医師患者関係等に種々の支障を及ぼす可能性があることから、医師は慎重な対応が求められます。そのため認知症について関係学会が合同で届出に関するガイドラインを協議・策定しました。<https://dementia-japan.org/guideline/>

わが国における運転免許証に係る認知症等の診断の届出ガイドラインQ & A

https://dementia-japan.org/wp-content/uploads/2023/12/GL_QA_140601.pdf

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

Q2 「義母が5歳の孫を息子(夫)と認識して接する。5歳の息子が義母を避けるようになり困っている。」という相談への対応

A2 「孫を息子と認識」といった症状は、認知症の中核症状である見当識障害によるものと考えられる。これらに家族が驚きストレスを抱え、患者との関係性を悪化させるケースも少なくない。そのため家族のストレス軽減に加え、家族が認知症を理解し適切に対応できるよう支援、教育を行うことも重要となる。

専門的な対応が望める機関を紹介してみても？ 公益社団法人「認知症の人と家族の会」では電話相談を行い、研修を受けた介護経験者が「認知症」にかかわる悩みに対応している。また、「認知症こどもサイト」等により、これからの社会を担う子どもたちへの認知症教育も実施している。

薬物療法のみならず運動、コミュニケーション機会などの非薬物療法の実施状況を確認し、支援の拡充を図ることが求められる。

出典：公益社団法人「認知症の人と家族の会」HP

【参考1】公益社団法人「認知症の人と家族の会」

公益社団法人「認知症の人と家族の会」は全国的な組織であり、年間約2万件超の相談を受け、自治体の「認知症コールセンター」にも協力している。公益社団法人「認知症の人と家族の会」https://www.alzheimer.or.jp/?page_id=146



「家族の会」では、フリーダイヤルによる電話相談を実施しています。

認知症に関する知識や介護の仕方などなんでもお尋ね下さい。また、介護のグチや悩みを思う存分話して下さい。少しでも心が軽くなり、元気を出してもらえよう、経験者が丁寧にお聞きます。

本部フリーダイヤル 平日10:00～15:00

0120-294-456

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

【参考2】「オレンジドア」

認知症当事者同士、家族
同士で話が出る「居場所」
地域包括支援センターなど
が定期的開催している。

認知症と診断を受けて、
この先のことに不安を抱い
ている方などを対象に、
認知症との診断後、不安を
乗り越えてきた相談員等が
認知症当事者の視点から
相談対応を実施。

診断されたご本人の、
その不安をともに乗り越えられたら・・・

オレンジドア

～ご本人のための物忘れ総合相談窓口～

認知症の診断を受けて、これから先、どうなるだろうと不安で仕方がなかったとき、私を前向きにさせてくれたのは、私より先に診断を受け、その不安を乗り越えてきた認知症本人の方々との出会いでした。この「オレンジドア」には、物忘れなどで不安を抱える方や認知症と診断されたご本人に、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

(オレンジドア 代表 丹野 智文)

毎月第4土曜日

※ご参加の際は、日程変更等がないようお願いください。

時間 14時～16時

場所 東北福祉大学
仙台駅東口キャンパス
仙台市宮城野区権殿2-5-26 JR仙台駅徒歩5分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※会場へのお問い合わせ、郵便物の発送等はお控えください。

《主催》 オレンジドア実行委員会 代表 丹野 智文
《後援》 宮城の認知症をともに考える会 認知症当事者ネットワークみやぎ
認知症介護研究・研修仙台センター 東北福祉大学 宮城県 仙台市

出典：仙台市HP

【参考3】デイサービス

～デイサービスとは？～

■可能な限り自宅で生活を送れるよう、日帰りで色々なサービスが受けられる

一般型デイサービス(1日コース)

送迎車にてお迎え
健康チェック
入浴・整容
昼食
休憩
機能訓練
体操・趣味活動
おやつタイム
自宅へお送り



■デイサービスにはさまざまな種類がある

- ・一般型(一般的なデイサービス)：カラオケ、手芸、麻雀など、施設ごとに娯楽の内容は様々
- ・リハビリ特化型：歩行訓練や筋肉トレーニング重視
- ・認知症対応型：少人数、専門的な認知症ケア提供
- ・療養型：療養ケアが必要な方が対象(重度要介護者、がん末期患者など)

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

Q3 介護サービスをご本人や家族が拒む時の対処方法は？

- A3 介護サービス利用については、患者本人の意思を尊重する必要がある。本人に拒否された場合、患者本人の自己選択とケアの必要性との狭間で倫理的葛藤が生じる。一方で、患者が拒んでも家族が支援を必要とする場合もある。拒否の理由や家族の疲弊の度合いを調査した上で、多職種をはじめとする患者・家族を取り巻く関係者間で支援の必要性および必要とされる支援を検討することが望まれる。
- 地域包括支援センター職員やケアマネジャーなどの支援者との関係性が構築され顔なじみになり、患者・家族の心が開かれてくると、通いサービス利用につながる可能性が高まる。

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

Q4 マンパワー不足により、向精神薬による抑制を外すことができない。何かよい解決方法はないか？

A4 「抑制を行う理由とその原因」を見極める必要がある。認知症なのか、せん妄なのか。せん妄の要因（直接因子、準備因子、促進因子）は何か。不眠の原因（身体的問題、精神的問題、物理的問題）は何か、等。原因の是正(せん妄の促進因子を取り除く、不眠の原因となる環境条件を整備する、等)とともに、薬物治療の再評価（日中傾眠、過鎮静の有無、せん妄を薬でマスクしていないか、等）を行う。これらの実施には、多職種でチームを組み、医療者教育がなされる必要もある。マンパワー不足という足枷があっても、栄養管理の実施により褥瘡が改善し、褥瘡がもたらす疼痛の緩和からせん妄や不眠が改善した事例などもある。医師、看護師、かかわるコメディカルがチームで、病棟で、組織で抑制解除に向け意識統一を図ることができれば、抑制の低減につなげられるのではないか。

認知症何でもQ&A ③介護・ケア

Q5 拒食への対応は？

A5 「拒食」も介護者を悩ませる症状である。味覚や嗅覚の変化、唾液の分泌不足、義歯などの異常、口内乾燥などの口腔内の変化、嚥下障害の進行、認知症の進行に伴う食物の認識困難などにより、食物摂取に障害が生じて、「食べられない」「食べたくない」という反応が出てくることがある。

また、向精神薬や抗認知症薬の副作用により食欲が低下する可能性もあるため、それらの確認も必要である。認知症の病型によっても拒食のあれわれ方は様々(レビー小体型認知症では幻視により食べ物が昆虫に見えたりすることで食べられなくなることがある)で、患者それぞれの「拒食」の理由、背景を探る必要がある。原因の是正とともに、食事に集中できる環境を作る、食事前に活動を促す、食事の体勢に注意する、入れ歯の調整や口腔ケアを行う、などを進めていくが、しっかりした食事でなくても(お菓子でもケーキでも)口から入るものであればよいと割り切ることが必要な場合もあると考えられる。

【まとめ】

- 認知症の人や、家族、介護者そのほかの人の質問に答えることは非常に重要である。しかし、答える過程で受けるストレスにも考慮する。
- 「認知症に対して」日頃困っている人は多くいる。我々は、まずは、可視化できるエビデンスに基づき、学会等が作成したガイドラインや、さらに法的根拠が必要な場合は十分に調べて答える。そのためには、最新の知識をウォッチすることも必要である。
- 認知症の人や、家族、介護者からの質問は「なぜこのような質問をしているか？」と質問の背景にも気を付ける。
- 質問に十分答えられない場合は、医師等の医療者、介護関係者、市町村等に問い合わせをすることも必要である。